

様式第3号 (第5項関係)

平成30年度 稲築西小学校 学校評価 報告書

平成31年 3月25日

<p>【学校教育目標】</p> <p>夢の実現に向け、友達と共に、元気に学ぶ児童の育成</p>	<p>【本年度の重点目標】</p> <p>－ 学校経営 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決に向けた教職員組織の連携強化 ○ 教育課程の計画的実施及び学力向上プランの日常化 ○ 主題研究の研究理論の確立とその理論に基づいた日常的実践 <p>－ 教育指導 －</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力の向上・表現力の育成 ○ 思いやりの心と規範意識の醸成 ○ 走力・柔軟性の育成及び望ましい生活習慣の育成
--	--

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策	
組織運営全般	学校	<p>目指す児童像の具現化に向けて、校務分掌が適切に機能している。</p> <p>(結果) 教員AB評価 94%</p> <p>昨年の91%を超える評価が得られた。4つに分かれていた分掌を、3つの分掌部に整理したことによって、各分掌の主任を中心にした効率的な会議を、定期的に行うことができるようになった。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に評価されています。 ・取組みを継続してください。 	<p>年2回以上のアンケートの実施を継続し、日常の職員声にも耳を傾けながら、取組みを継続・発展させる。</p>
		<p>校務分掌組織において、各分掌部会内の係が内部で連携し、協働体制で部会の取組みを行っている。</p> <p>(結果) 教員AB評価 89%</p> <p>昨年度の87%を超える評価が得られた。全職員が互いに連携し合い、それぞれの分掌部内の係に責任を持って全力で取り組んでいる。</p>			
	<p>会議等の運営状況は、適切である。</p> <p>(結果) 教員AB評価 89%</p> <p>昨年度の91%を超えた評価は得られなかったが、ほぼ同等の評価となった。各部の部長や各会の主任がレジメを作成し、見直しを持って会議の運営にあたっている。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・適切に評価されています。 ・それぞれの組織の中でしっかりと話し合ったり、伝達したりする時間を確保しながら、取組みを継続してください。 		
	<p>総合所見</p> <p>3つの評価指標の教員AB評価が、いずれも90%前後になり、適切な運営が行われていると判断している。また、そのことが、D評価(全然思わない)が0%であること、過重な負担による休職や病休が1人を出すことがなかったことにつながっているととらえている。</p>				
	<p>一人一人が分かる喜びを味わい、楽しい授業づくりを進めている。</p> <p>(結果) 児童AB評価 79% 保護者AB評価 89%</p> <p>教員AB評価 97%</p> <p>教員は授業づくりに全力で取り組み、そのことを保護者にはご理解いただいている。しかし、主役である児童は、あと一歩何か不足していると感じている。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律がきちんと指導され、児童が落ち着いて学習している。 ・分かるようになったりできるようになったりする面白さを実感しているようだ。もっと喜びが味わえるように、更に楽しい授業づくりに取り組んでほしい。 	<p>「視覚的な板書の工夫」や「書く活動を取り入れる」ことによって、一定の評価は得られている。教師の説明の時間を削減し、児童の活動・活躍する時間の確保に努める。</p>	
<p>家庭学習の習慣が身につくように、指導をしている。</p> <p>(結果) 児童AB評価 69% 保護者AB評価 68%</p> <p>教員AB評価 97%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は、よく努力されているが、保護者の評価や児童の評価が70%を超えるように、あと一歩工夫してほしい。 				<p>家庭学習の指導の徹底が不登校の要因にならないように配慮しつつ、10分×学年+10分という家庭学習の時間目標及びその内容を確認し、称賛活動を取り入れながら指導を継続す</p>

習 指 導	る	<p>教員は「家庭学習」に取り組ませているつもりだが、児童と保護者は「家庭学習の習慣が身につくような指導」が行なわれているとはとらえていない。</p>		<p>・土曜未来塾を活用する人数が増えると、いいのだが・・・</p>	<p>る。</p> <p>1学期はもちろん、定期的にも土曜未来塾への参加を呼びかける。</p>
	子	<p>言語活動を取り入れながら、思考力・判断力・表現力の育成に努めている。</p> <p>(結果) 児童AB評価 79% (58%) 保護者AB評価 82% 教員AB評価 89%</p> <p>大人からの視点では80%を超える評価になっているが、児童は、しっかり聞く・自分で考えることはできていても、「発表」となると、半数に近い児童が十分ではないと答えている。</p>	3	<p>・「朝のあいさつ」一つでも、一人一人個人差がある。思考力・判断力の育成を大切にしつつ、表現力の向上については、個性への配慮をしつつ、ほめながら指導してほしい。</p>	<p>なぜ「考える力」「決める力」「説明する力」が必要なのかについて、発達段階に応じて指導していきたい。</p> <p>しっかり見る・聞く・書く力の伸びは、児童も実感しているので、それを活かして「発表する授業」「交流する授業」の割合を増やし、児童に成長を実感させたい。</p>
	総合 所見	<p>教員は、主体的に学び続ける子の育成に全力で取り組んでいる。しかし、「楽しい授業」「表現力の育成」については、児童の評価とのずれがある。また、「家庭学習の習慣」については、児童と保護者の評価とのずれがある。このことを意識して、日々の授業改善に取り組んでいきたい。</p>			
	教育 課程 ・ 学 習 指 導	<p>いじめ早期発見アンケートをもとに、いじめの無い学級づくりを行っている。</p> <p>(結果) 児童AB評価 72% 保護者AB評価 85% 教員AB評価 83%</p> <p>いじめの事案やそれにつながる言動はある。しかし、事前の指導や早期発見・早期対応によって、一定の評価が得られていると考える。</p>	3	<p>・いじめは、無い方がいいが、もしも起こってしまったときには、「もう絶対にしない」「もう絶対に起こさせない」と子どもたちが思うような指導を行ってほしい。</p>	<p>年度当初の学年・学級づくりから、いじめを生まない集団作りを行うとともに、いじめ事案が発生した時にアクション3に則った適切な対応を全職員が行うことによって、児童や保護者が安心できる学校を作っていきたい。</p>
自 分 や 友 達 を 大 切 に す る 子	<p>子どもたちが善悪の判断ができるように、指導している。</p> <p>(結果) 児童AB評価 90% 保護者AB評価 87% 教員AB評価 92%</p> <p>冷静になれば全ての児童が、善悪の判断ができるようになってきたと言える。しかし、大切な瞬間に判断を誤ったり雰囲気や感情に流されたり興奮して判断できなくなったりするケースは、まだまだ多い。</p>	4	<p>・3者のAB評価がとても高い。これは、それぞれに成長を実感している結果であると考え。</p>	<p>「学校は失敗するところだ」と言う言葉がある。失敗したことを、学びにできるように、事前の指導・事後の指導・正しい声かけのできる学級学年学校作りに取り組んでいきたい。</p> <p>反省してきちんと「ごめんなさい」と言えた子に対しては、とても寛大な態度で接する児童が多い。さらにその文化を広めていきたい。</p>	
元 気 で	<p>子どもたちは、自分から意識して挨拶に取り組むことができている。</p> <p>(結果) 児童AB評価 80% 保護者AB評価 77% 教員AB評価 83%</p> <p>保護者の評価が低く、学校ではある程度できていても、他の場所での挨拶や教員以外の方への挨拶は、できていないという実態があると考えられる。</p>	3	<p>・先日、スキップをしながら登校して、きちんと止まって「おはようございます。」とあいさつをしてくれた子がいました。</p> <p>・「学校は、楽しいですか?」と尋ねると、「はい。楽しいです!」と返事を返してくれました。</p>	<p>PTAのあいさつ運動や、児童会・生徒会の活動は継続させたい。また、あいさつができるようになった子には、①ちょっと立ち止まる。②天気や近頃の出来事などを少し話す。などの「一歩上のあいさつ」をできるように指導して行きたい。</p>	
総合 所見	<p>「いじめのない学級づくり」「善悪の判断ができる指導」については、一定の評価が得られているが、「正しい言葉遣い」については、児童の意識と大人の意識に、大きな差がみられる。日々の授業を中心にしながら、日常の細やかな言葉の指導の積み重ねを大切にしていきたい。</p>				

教育課程・学習指導	た	<p>コーディネーショントレーニングなどを取り入れ、児童の体力的課題を克服するための動きを取り入れた授業づくりを行っている。</p> <p>(結果) 教員AB評価 75%</p> <p>昨年度の69%よりも少し向上させることができた。運動面の児童・保護者評価は以下の通りである。</p> <p>児童AB評価 79% 保護者AB評価 83%</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 運動会や冬場の持久走など、しっかり取り組もうとする様子がたくさん見られました。 	<p>新年度も年度当初に、一般研修の中でコーディネーショントレーニングの研修を計画し、共通理解をはかり、全職員の取組みにしていこう。</p>
	く	<p>子どもたちは、廊下歩行やチャイム席等「学校のきまり」を守っている。</p> <p>(結果) 児童AB評価 79% 保護者AB評価 71%</p> <p>教員AB評価 50%</p> <p>児童・保護者は、昨年度と変わらずほぼ守れているという評価だが、まだまだ守れていない現状がある。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 今年も、教員と児童・保護者の評価に、差が見られる。 	<p>昨年度の教員AB評価が42%であったことを考えると、数年前より、年々良くなってきている。</p> <p>児童の委員会活動の取組みや各学年に応じた指導を行うことによって、更に改善していきたい。</p>
	ま	<p>以前よりもあいさつや外遊びをする子や、コーディネーショントレーニングの取入れた授業は増えてきている。廊下歩行の改善やチャイム席の徹底も、取組の成果がみられるが、児童と教員の意識に、約30%もの開きがある。年度当初に指導するとともに、児童会としての取組みを検討したい。</p>			
	し				
	い				
生徒指導・保健・安全管理	生	<p>学習規律の確立など、規範意識の醸成に努めている。</p> <p>(結果) 教員AB評価 92%</p> <p>どの学級も落ち着いて学習できる状況になってきた。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 学校関係者評価委員会の日の授業参観でも、卒業式の態度にも、子どもたちの成長を感じることができました。 	<p>チャイム席・学習用具の準備等の指導の徹底を図り、安心して学習できる時間が確保されるようにしていきたい。</p>
	徒	<p>生徒指導に取り組む体制が、整備されている。</p> <p>(結果) 教員AB評価 92%</p> <p>個別の支援を要する児童への支援体制が生まれ、他の児童や、やや落ち着きのない児童も安心して学習できるようになった。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 取組みを継続してください。 	<p>本年度の校内の支援体制と関係機関との連携を継続し、安心して登校できる学校を作り、不登校の児童（家庭）を減少させたい。</p>
	指	<p>保護者や地域社会、関係機関などとの連携協力ができるよう努めている。</p> <p>(結果) 教員AB評価 97%</p> <p>ほぼ全職員が、保護者、地域ボランティア、関係諸機関との連携を図ることができていると感じている。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 アンビシャス広場の件、ご協力ありがとうございました。これからも、個人としてかわり続けたいと思います。 	<p>アンビシャス広場が、取組みを終えられたことはとても残念だが、地域の皆様との連携を継続することによって、子どもたちにたくさんの皆様から支えられていることを時間させ、郷土を愛する心を育てていきたい。</p>
	導				
	保	<p>教員のAB評価が、3つの評価指標の全てで90%を上回り、その成果を実感している。引き続き現在の体制を維持し、保護者や地域社会・関係機関と連携しながら、生徒指導の充実を図りたい。</p>			
	健				
安全管理	保	<p>定期的に安全点検を行い、安全管理に努めている。</p> <p>(結果) 教員AB評価 97%</p> <p>ほぼ全職員が、毎月の安全点検に基づく、改善や安全管理の体制ができていると感じている。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 校内の環境が、改善されてきている。 取組みを継続してほしい。 	<p>本年度から、毎月の安全点検の後に、点検を受けて改善された箇所、今後改修が必要な箇所を一覧表にまとめ確認できるようになった。このシステムを継続したい。</p>
	安	<p>児童の安全確保や事故の未然防止に積極的に努めている。</p> <p>(結果) 教員AB評価 92%</p> <p>日常の連絡・改修がスピーディーに行われるようになった。また、事前の安全指導や計画的な避難訓練等も充実してきている。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 取組みを継続してください。 	<p>定期的な避難訓練の充実を図るとともに、集中豪雨等で緊急に下校させなければならないときの、安全で確実な引き渡し体制を作っていく。</p>
	全				
	管	<p>教員のAB評価が、2つの評価指標で90%を上回り、その成果を実感している。引き続き現在の体制を維持し、全職員で児童の保健・安全管理の充実を図るとともに、緊急時の危機管理体制の構築を行いたい。</p>			

研修 ・ 人権 同 和 教 育	主題 研修	主題研修が計画的に進められ、授業改善に努めている。 (結果) 教員AB評価 86% 全職員による授業研究会と各学年による部研が計画的に実施された。	4	・適切に評価されています。 ・取組みを継続してください。	児童の実態を客観的にとらえ、その成長と課題を明確にすることによって、授業改善を進めていきたい。
	人権 同 和 教 育	人権・同和教育が計画的に進み、日々の児童の教育にいかすことができている。 (結果) 教員AB評価 92% 全職員の努力によって、昨年度より10%も評価を上げることができた。	4	・適切に評価されています。 ・今年度のように、友達を大切にすることから、しっかり指導していただきたい。	様々な課題はあるが、実態に即した取組みを継続したい。また、事案が発生した時に、児童が考える拠り所になるような指導を計画的に実施していきたい。
		総合 所見	研究主任と人権・同和教育担当教員のリーダーシップによって、取組みが行われ、教員のAB評価が80%を超えることができた。これらの取組を継続し、授業の改善と児童の豊かな心の育成を図っていきたい。		
	地域 連 携 ・ 教 育 環 境	そ の 他	学年・学級だより等で、子どもの様子を知らせ、連携を深めている。 (結果) 保護者AB評価 87% 教員AB評価 97%	4	・適切に評価されています。 ・学校だよりを楽しみにしています。
学習・生活環境の整備に努めている。 (結果) 保護者AB評価 90% 教員AB評価 94% 昨年度よりもさらに高い評価となり、保護者も職員も、整備されていることを実感している。			4	・適切に評価されています。 ・取組みを継続してください。	児童への清掃指導を充実させるとともに、児童が整理できるような環境を職員が作り、指導するように心掛けたい。 専科の教員による、すき間時間を活用した環境整備活動も継続していきたい。
総合 所見		2つの評価指標に対して、保護者からも高い評価を得ることができた。保護者や地域の皆様とのつながりを大切にするための広報活動と、子どもたちの日々の学習環境と生活環境の整備を、これからも充実させていきたい。			